



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.190

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2024.1

新年のご挨拶 理事長・院長 石井 洋光

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類に移行してから初めての年始を迎えます。制限も緩和され、久方ぶりに故郷に帰省したり、親族が集う機会も増えたりしていると思います。ただし、高齢者や重症化リスクの高い方と接する時はマスクをする等、感染対策を意識して行動する。体調の悪い時は無理をせず、自宅療養や医療機関を受診するようにしましょう。

さて、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる「2025年問題」が刻一刻と迫って参りました。日本人の4人に1人が後期高齢者となる反面、労働人口は減り続け、医療・介護の現場では深刻なマンパワー不足となります。端的に言えば、若者は減少し、高齢者は激増。少ない若者で多くの高齢者を支える社会構造が加速するため、医療費や年金の財源の逼迫、社会を支える労働力の減少による経済力の低迷など、さまざまな影響が懸念されています。

こうした様々な課題に対して、当院では「地域住民を治し支えて守る」ことを目的として、2024年4月に「在宅支援ステーション」を立ち上げる運びとなりました。現在、当院東隣で工事を行っている建物に「医療連携相談室」「居宅介護支援事業所」「訪問看護室」「訪問リハビリ室」といった部門を移し、各種相談窓口を設ける予定です。そして、多職種連携のもと医療と介護の両面から地域の皆さま、患者さま、利用者さま、ご家族さまに安全・安心で最適な医療及び介護ケアプランの提供を行いサポートして参りたいと考えています。

当法人職員一同、これを機に更なる努力を重ねていく所存ですので、今後とも地域の医療、在宅・介護関係者の皆さまのご支援とご協力のほど心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



理事長・院長
いしい ひろみつ
石井 洋光

 当院におけるボランティア活動について


通所リハビリテーションじんけい及び石井病院リハビリテーション部では、SDGsへの取り組みの一環として、「ペットボトルキャップを集めて、ポリオワクチンに」というボランティア活動に協力しています。

これまで、令和3年、株式会社姫路環境開発様に約60kgを提供し感謝状を頂きましたが、今回、大栄環境株式会社様にペットボトルキャップ **70.2kg** **33,700個** を受け取って頂きました。

これはポリオワクチン**54人分**に相当するそうです。大栄環境株式会社様では、自社にてリサイクルパレットに加工することで、材料費分をワクチンボランティアに充てくださり、リサイクルとボランティアの両方に貢献しておられます。

当院でもこの活動に賛同し、今後も継続的に活動していきたいと思っております。

(事務長代行兼リハビリテーション部課長 井村 宗広)

ペットボトルキャップリサイクル報告書

21年 大栄環境グループ

医療法人社団 仁恵会 石井病院 様

70.2kg(約33,700個)のペットボトルキャップを集められました。
ワクチンで換算すると...**約54.0人分**に相当します！
ありがとうございます。

医療法人社団 仁恵会
石井病院 様

みなさんで
ペットボトルキャップを回収
しました。

2023.12.12
"お預かり"

ペットボトルキャップ活動の図

大栄環境グループ

ペットボトルキャップを原料に
リサイクルパレットを製造

これ

ペットボトルキャップ1kg
(約400個)はポリオワクチン寄付

世界の
子どもに
ワクチンを
届ける
JVCV

JVCVとは？「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」の略称で、開発途上国の子どもたちにワクチンを届け、子どもたちの未来を守る活動を行う民間の国際支援団体です。直接届けてもらうキャップでも、13年(約620個)でポリオワクチン1人分相当になります。



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

新年のご挨拶 院長 福士 剛彦

明けましておめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また昨年中、当クリニックに賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

昨年はCOVID19感染症もようやく下火になり日常を少しずつ取り戻せたように思われます。当院でも一昨年に比べてそれへの業務量は格段に軽減され、患者の皆様の健康状態もより高いレベルへ改善されていることが実感された日々でした。

今年も日々の診療においては心穏やかに、そして世界に恒久的平和が訪れることを願い、今日も明日も明後日も、まるで津軽の馬鹿塗りの如く、自分自身にしかわからないキャリアの積み重ねを、不断の心で更に重ねてまいる所存です。本年も当院に関わる全ての方々からの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。



人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック

院長

ふくし よしひこ
福士 剛彦



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

新年のご挨拶 事務長 原 真一郎

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

仁恵会は、60年間地域の皆様と一緒に成長してきました。これからの超高齢化社会を担う為、人工透析ひ尿器科じんけいクリニックは大変恵まれた環境と人がそろっていると考えております。熱心に医療に身をささげる医師と共に、ベテランから若手までこれから長年にわたりクリニックを成長させ、患者様の命を守り続けるスタッフと共に働けることを大変感謝しております。更に患者様・家族様・地域の皆様からも、クリニックを選び来院していただけることを大変光栄に思っております。「透析ならじんけい」を合言葉に成長し、皆様の期待している医療を提供できるよう、誠心誠意邁進してまいります。

これからも変わらぬ御指導を賜りますよう、本年も皆様が御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



仁恵会本部事務課長代行
兼 人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務長

はら しんいちろう
原 真一郎

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>